

学部創立50周年記念式典・祝賀会開く

広島大学総合科学部は8月10日、広島市中区のANAクラウンプラザホテルで、創立50周年の記念式典と祝賀会を開いた。卒業生や教員、職員、在学生たち約250人が出席した。



式典では、山田俊弘学部長が式辞。旧制広島高等学校や旧教養部の流れをくみながら1974年の6月に設置され、「学際性、総合性、創造性」を掲げて歩んできた道のりを振り返った。そのうえで「総合知」の重要性が叫ばれる今、学部の理念と目標を堅持しつつ努力を重ねていく、と誓った。

越智光夫学長が祝辞。羅針盤を持つことの大切さ、目的地をはっきりさせることの意義に触れつつ、「この先50年の発展を祈念する」とあいさつした。続いて東広島市の高垣廣徳市長と、同窓会の前延国治会長がお祝いの言葉を述べた。多額寄付者への感謝状贈呈などもあった。

続いて開いた祝賀会は、同窓会大会も兼ねての開催。初代学部長の名前を冠し、パイオニア精神あふれる創造的な活動を称え顕彰する「今堀誠二賞」の創設を承認した。さっそく、この日記念講演した堀川恵子さんに「特別賞」を贈った。

祝賀会は、1期生の藤谷昌平さんの発声で乾杯。来賓のスピーチ、古川康雄名誉教授のサクソ演奏、抽選会などがあり、1978年入学の同窓生たちは壇上で「安芸の国」を歌って、盛り上げた。久々に会った同窓生と近況を報告しあい、出席した40人余り

の在学生は、卒業生を紹介してもらい、笑顔で会話する姿もあった。

記念映像「1974年 広島大学総合科学部誕生 今堀誠二と飯島宗一の思い」(約8分)が上映された。学生運動が盛んだった頃の千田キャンパスのモノクロ画像もあり、同窓生はうなずきながら見入っていた。映像は総合科学部や同窓会のホームページでも閲覧できる。

堀川恵子さん記念講演

「越境する力～ジャーナリズムの世界を駆けて～」

総科15期・1988年入学、外国語コースでノンフィクション作家の堀川恵子さんが記念講演した。

卒業後、広島テレビに入社。報道記者として学んだこと、感じたことを振り返り、ディレクター職となっからは「ひとつの事象にじっくり向き合い、長尺のドキュメンタリーを作ることに醍醐味を感じるようになった」と語った。



退社し、東京で大型ドキュメンタリー番組を作るようになった時期を回顧。また、「チンチン電車と女学生」「死刑の基準」「裁かれた命」「原爆供養塔」などの著作を1点ずつあげ、取材のきっかけや執筆時の思いなどを紹介した。テレビ業界から執筆に「越境」したことについて、「出版は長く後世に残る。そして、演劇化など、別の展開に広がっていくところも面白い」と話した。

「新しい居場所を求めることを楽しんできた」と越境を続けた生き方を振り返り、来場した在学生に向けて「みなさんには無限の海が広がっている。人に会いましょう。スマホを置いて」と呼びかけた。金山 努(総科12期・1985年入学 地域文化コース)

総科50周年記念事業を振り返って

総科50周年記念式典・記念講演・祝賀会WG座長
林 光緒

総科9期(1982年入学、情報行動科学コース)の林です。総合科学部創立50周年を祝して、記念式典・記念講演・祝賀会(兼同窓会大会)が8月10日(土)16時からANAクラウンプラザホテルで開催されました。世話人を代表して、当日の様子をご報告いたします。

記念式典・記念講演には、学外者153名(来賓11名、名誉教授14名、企業関係者5名、同窓会員123名)、学内者101名(教職員63名、学生38名)の合わせて254名が参加し、盛大に執り行われました。多数のご来場、誠にありがとうございました。

越智光夫 広島大学学長、原田康夫・浅原利正 元広島大学学長のほか、以下の名誉教授も参加されました：井口容子、井上和子、宇田川眞行、浦光博、浴野稔一、於保幸正、小村堯、金田晉、小林ひろ江、早瀬光司、古川康雄、山崎岳、渡邊一雄、渡部三雄(50音順、敬称略)。同窓会の皆様にとって懐かしいお名前も多かったことと思います。私自身、大変お世話になった先生方です。現役時代も元気いっぱいのお先生方でしたが、式典当日も非常に元気にされていたことをここに報告申し上げます。なお、古川先生には祝賀会・同窓会大会にてサクソ演奏をご披露いただきました。

記念式典は小川景子 総合科学部准教授(総科24期・1997年入学、生体行動科学コース)の司会で始まりました。山田俊弘 総合科学部長と越智学長の挨拶の後、総合科学部に50万円以上のご寄付を賜りました村上清貴 村上農園社長(総科6期・1979年入学、社会文化コース)、前延国治 総科同窓会会長・東広島市副市長(同3期・1976年入学、環境科学コース)、岩永誠 総合科学部教授(同5期・1978年入学、情報行動科学コース)、畑尾武海 広島大学基金室室長(同6期・1979年入学、社会文化コース)の4名に感謝状が贈呈されました。多額のご寄付、改めて感謝申し上げます。

高垣廣徳 東広島市市長と前延同窓会会長からご来賓挨拶をいただいた後、湯崎英彦 広島県知事からの祝電が披露されました。湯崎知事は、1984年に53歳で早世された湯崎稔 元総合科学部教授のご子息であることは、多くの方がご存じのことと思います。

最後に、坂田桐子 総合科学部副学部長(総科10期・1983年入学、情報行動科学コース)による閉会の挨拶

で、記念式典は無事終了しました。

記念式典に続いて、ノンフィクション作家の堀川恵子氏(総科15期・1988年入学、外国語コース)から「越境する力～ジャーナリズムの世界を駆けて～」と題して記念講演が行われました。堀川氏は報道記者として広島テレビ放送に入社し、ディレクターとして数多くのドキュメンタリー番組を制作されました。退社後は、NHKやテレビ朝日、フジテレビなどの東京のキー局で大型ドキュメンタリー番組を制作し、その後ノンフィクション作家に転身されました。講談社ノンフィクション賞、大宅壮一ノンフィクション賞、司馬遼太郎賞、大佛次郎賞など、多数の受賞歴をお持ちです。一見華やかに見えるご経歴ですが、その道は決して平坦ではなく、他の人よりも何倍もの努力をもって「死に物狂い」で仕事をされてきたとのこと。そして、自分の現在の場所から飛び出して「越境」するには大変な勇気が必要であること、しかしその先には果てしない可能性が広がっていること、そして総合科学部の学生には「越境」できる大きな力が備わっていることを熱く語られました。非常に素晴らしい講演で、終了後には会場から大きな拍手が沸き起こりました。

堀川氏は、広大の全学部で必修科目となっている教養教育科目「大学教育入門」において、第15回目の「世界で羽ばたく教養の力。」でもご講演いただいております。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

堀川氏には、記念講演の後に開催された祝賀会・同窓会大会にて、同窓会から今堀誠二賞特別賞が贈られました。同窓会大会と今堀誠二賞特別賞の詳細については、他稿に譲ります。

最後になりますが、このような盛大な会を準備してくださった総合科学部の教職員の皆様、総合科学部同窓会世話人の皆様、そして総合科学部50周年記念行事にご列席いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

総科50周年記念行事の一環として、11月1日(金)の夕方、藤則幸男 紀伊國屋書店社長(総科3期・1976年入学、社会文化コース)による講演会「世界の人に本を届ける紀伊國屋書店の挑戦」が執り行われましたことも併せてご報告申し上げます。



賞を授与される堀川さん



前延 同窓会長



山田 学部長



越智 学長



2024年、総合科学部は創立50周年を迎えました

総合科学部長 山田 俊弘

総合科学部同窓生の皆様、総合科学部創立50周年、本当におめでとうございます。

今年2024年は、広島大学全体から見ると創立75周年に、最も古い前身校である白鳥学校が設立された時から数えると、ちょうど150周年にあたります。そのような記念すべき年に、広島大学総合科学部は、創立50周年を迎えました！

総合科学部では、2023年度に関矢寛史前学部長が創立50周年記念事業準備委員会を組織し、2024年度には、その役割を創立50周年記念事業実行委員会に移行させながら、様々な記念事業を執り行ってまいりました。両委員会には、同窓会より田中伸武副会長と畑尾武海理事にも参加していただき、同窓会と連携しながら、記念事業の準備を進めてきました。

創立50周年記念事業は、たいへん欲張りなものでした。7月20日に広島大学東広島キャンパスにあるサタケメモリアルホールで行った記念シンポジウム、「世界で活躍するひろだいそうか」を皮切りに、8月10日にはANAクラウンプラザホテルにて、記念式典・講演会・祝賀会を開催しました。11月1日には、同窓生で紀伊國屋書店代表取締役社長の藤則幸男さん（3期生）に、記念事業の一環として講演をしていただきました。そして現在、50周年記念誌の刊行準備が着々と進められています。

同窓生の皆様の中には、記念事業に参加され、総合科学部在学や現役教員との交流を愉しんだり、かつての学友や恩師と再会し、当時は懐かしがられたりした人も多かったのではないのでしょうか。同窓会には、祝賀会や記念シンポジウム後に行われた交流会への在校生の参加費用を支援していただきました。なお、記念式典等の詳しい内容については、本同窓会だより、「総科50周年記念事業を振り返って」をご覧くださいませ幸いです。

私にとって2024年は、記念事業を通じて、第一期生を含めた多くの同窓生にお会いすることができた特別な1年になりました。卒業されてから時間がたっている人もおられましたが、皆、在学時がまるで昨日のここのように、総合科学部で学んだことや、それが社会でいかに役に立ったかを話してくれました。そうしたお話を伺うにつれ、総合科学部がこの50年の間に成し遂げたことの大きさを実感しています。これを読まれている皆様もきっと、それぞれの総合科学部に対する思いを胸に秘めて

いることでしょう。現任教員としては、在校生やこれから入学する未来の総合科学部生にも、同じような経験をさせてあげたいと思っています。

祝賀会でお披露目された、同窓会作成の50周年記念映像、「1974年 広島大学総合科学部誕生 飯島宗一と今堀誠二の思い」は、祝賀会を大きく盛り上げてくれました。あれだけの作品です。制作には大変な労力がかかったことと思いますが、皆様のご尽力には頭が下がるばかりです。記念映像は、同窓会と総合科学部のホームページから閲覧できるようになっております。

同窓会や同窓生個人からは、毎年多くのご寄付をいただいております。50周年記念事業は、皆様からのこうしたご寄付が主な財源となっております。衷心より感謝申し上げます。

同時に、皆様からいただいた貴重なご寄付は、総合科学部生の様々な修学支援に使わせていただいております。例えば、留学には語学能力試験の受験が必要になりますが、受験料は数万円と高額です。そこで、受験料の半額を、ご寄付を用いて支援させていただいています。また、学生たちが行う学際的な活動である「学生独自プロジェクト」に対しては、同窓会と総合科学部後援会からのご寄付を活用させていただいています。学生独自プロジェクトの中間報告会は、毎年11月開催のホームカミングデーで行っておりますので、ぜひそちらにもご参加ください。昨年度からは、学生と教員が気軽に参加できる学際交流イベント「総科カフェ」を開催していますが、参加者に無料提供するソフトドリンクも、ひろだいそうか基金に支えられています。

さらに、総合科学部では毎年、学部内外の情報交換を促進するために学生たちが編集・出版する広報誌「飛翔」を作成しています。飛翔は総合科学部創立2年目から発行されているので、覚えていらっしゃる同窓生も多いのではないのでしょうか。この出版費用は毎年数十万円かかっていますが、2022年度以降、同窓生の村上清貴様（株式会社村上農園社長）のご寄付により、この費用がまかなわれております。

こうした総合科学部の活動や学生支援は、皆様からのご寄付により実施されております。誠に恐縮ながら、今後とも、ひろだいそうか基金や総合科学部への直接のご寄付をご検討いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

総合科学部創立50周年記念シンポジウムに思いを寄せて

国際共創学科 JORICO CHRISTIANTO

私が広島大学に入学してから6ヶ月が経ちました。この短い間に、総合科学部創立50周年記念シンポジウムに参加出来て光栄です。

このセミナーでは、卒業生や学者などの様々な人物がスピーチを挙げ、自分の経験を語って、それから学生へのアドバイスをしました。セミナーの講演者は職業や専門が異なるかもしれ

ませんが、彼らの目的は一緒です。それは、学生たちにインスピレーションを与え、将来への期待を抱かせるためです。

最初は、総合科学は他の学問と同じであると思っていました。確かに高校時代より少し難しいけれども、それだけだと思っていました。しかし、彼らの話を聞いているうちに、総合科学の意味が理解出来るようになってきました。問題を解決する対策は一つではありません。つまり、学ぶことは一つの専門立場か

ら見るだけでなく、むしろ多数の分野を把握して、知恵を得ることこそが学びなのです。

これからは、知識を求めてそれぞれの道を歩むことになりま。セミナーで語られたことは、私たちを導いてくれるでしょう。勉学に励む道は優しくありません。このセミナーは、決してあきらめずに努力することを思い出させてくれるものでした。総合科学部創立50周年おめでとうございます。

■ 在学生から見た50周年式典

総合科学科 志方 一稀

私と総科との出会いは、偶然でありながら必然でもありました。高校時代、部活一色の生活を送りつつも、漠然と「既存の枠にとらわれない、新しいスタイルで学びたい」という思いを抱いていたものの部活の引退間近の高校3年の春までほとんど何も考えていなかった記憶があります。そんな折に、偶然広島大学の総合科学部を知り、こしかないと確信して、そのまま総科一筋で受験に臨みました。入学後は、様々なバックグラウンドを持つ学生や多様な分野に関心のある仲間と出会い、互いに刺激し合いながら学びを深める日々を送っています。

そして今回、総合科学部の設立50周年式典に出席できたことを心から嬉しく思います。本式典では、これまで総科を創られてきた卒業生の方々と触れ合い、その軌跡を知る機会を期待して参加しました。記念講演では卒業生である堀川恵子さんの

ご講演を聴き、「新しい環境でも挑戦し続ける強かさ」という総科のスタイルを改めて感じ、改めて総科生のことを誇りに思えました。また式典後の同窓会大会に出席させていただいた際には卒業生の方々からさまざまなお話を伺うことができ、非常に充実した時間を過ごしました。

近年、社会における様々な問題が複雑に絡み合う一方で、学問の分野が細分化され「タコツボ化」することが問題視されています。そのような状況において、総合科学の存在意義が問われる時代であると感じています。これまで時代を先取りしてきた総科の歴史の重みを感じるとともに、次世代の担い手として、改めて総合科学の道を歩んでいこうと思えた一日でした。総科設立50周年、本当におめでとうございます。

■ 支援を受けた学生の声

総合科学科 大橋 春仁

私は「ひろだいそうか基金」から英語試験の受験料のご支援をいただき、現在イギリスで交換留学生として日々を過ごしています。ここでは主に英語を中心とした授業を履修しており、ディスカッションが中心の授業形式やフレンドリーな先生方とのやりとりはとても刺激的です。時にはうまく意思疎通ができなかったり、周囲に馴染めなかったりと、異国での難しさを実感することもあります。そんな中でも、人生で一度きりであろうこの経験を存分に楽しみ、多くのことを学びたいと思っています。

ます。改めて、このような留学を後押しして下さった「ひろだいそうか基金」のご支援に心から感謝申し上げます。



人間社会科学研究科博士課程前期、令和6年3月総合科学科卒業 岡村 拓海



2024年2月、ひろだいそうか基金のご支援を受けて、総科カフェ『西条盆地が作ってわかる!』を開催しました。西条盆地

の地形の積層模型を参加者の皆様と工作し、作った模型をもとに、西条盆地の地形や歴史について、それぞれを専門とする先生方に講義していただきました。小規模なイベントでしたが、皆様からご好評をいただくことができました。スピーディーに事務手続きをサポートして下さった支援室の皆様と、このような機会を設けて下さった同窓会の皆様のお力添えに、あらためてお礼申し上げます。

50周年記念事業収支報告

2020～2024年（令和2～6年）にかけて「50周年記念事業」に対していただきました寄付金、ならびに2024年8月10日に開催された「広島大学総合科学部創立50周年記念祝賀会ならびに同窓会大会」の参加費について、下記のとおり収支報告させていただきます。

繰越金99,931円につきましては「今堀誠二賞等学生支援基金」に繰り入れ、現役学生の支援事業などに活

用させていただきたく存じます。

皆様からの温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

なお、祝賀会にて実施した「たる募金」には65,000円のご寄付をいただきました。広島大学基金室を通じて、この全額を総合科学部に寄付いたしましたので、あわせてご報告申し上げます。

50周年事業費収支報告書

収入		支出	
繰越金	91	広島大学75+75周年ラッピング電車寄付金	100,000
R2事業寄付金 80口	432,600	総合科学部50周年記念ロールアップバナー	24,270
R3事業寄付金 69口	306,540	総合科学部50周年記念シンポジウム交流会 支援費	111,000
R4事業寄付金 50口	188,500	祝賀会会場費(ANAクラウンプラザホテル)	1,563,805
R5事業寄付金 57口	256,500	記念映像制作費(TOBE)	498,080
R6事業寄付金 8口	39,000	記念映像記事使用料(中国新聞社)	51,700
利子(R2-R6)	19	記念映像映像使用料(RCC中国放送)	40,590
祝賀会参加費 127口	1,270,000	郵送費	2,234
		振込手数料	1,640
		繰越金	99,931
計	2,493,250	計	2,493,250

2023年度寄付金報告

2023年4月から2024年3月までに「ひろだいそうか基金」および「50周年記念事業」にいただきましたご寄付について下記のとおりご報告いたします。皆様からの温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ひろだいそうか基金	61件	358,200円
50周年記念事業	57件	256,500円

「ひろだいそうか基金」へのご寄付分につきましては大学で管理するため、2024年4月に「広島大学基金」へ送金いたしました。2020年度からの累計額は1,829,640円となっております。本基金の用途につきましては総合科学部学部長・執行部が今後決定し、様々な学部事業・学生支援に役立てられます。

「50周年記念事業」へのご寄付分につきまして、下記の通りご報告させていただきます。

【収入】

2023年5月末時点預かり金 (2020—22年度 寄付金+利子 総計)	927,741円
2023年度 寄付金	256,500円
利子	9円
— 総計 —	1,184,250円

【支出】

広島大学75+75周年事業ラッピング電車クラウドファンディングへの寄付・手数料	100,440円
総合科学部創立50周年ロールアップバナーの 購入・学部への寄贈	24,270円
※2023年12月発行 同窓会だより第29号にてご報告	
— 総計 —	124,710円

2024年4月末日時点で、1,059,540円をお預かりしております。この寄付金は、2024年8月10日にされる「総合科学部50周年記念式典・同窓会大会」の事業費として使用させていただきます。

「50周年記念事業」へのご寄付の受付は、2024年8月をもって終了いたしました。今後は「今堀誠二賞等学生支援基金」を設立し、同窓会から現役学生への支援事業などを行う予定です。「ひろだいそうか基金」ともどもご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。なお、寄付に際して税制上の優遇措置を受けたいとお考えの方は、「広島大学基金」へ直接のご寄付をご検討ください。(https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou)



総合科学部同窓会2023年度決算報告書

収入		支出	
前年度繰越金	4,710,127	消耗品費	0
利子	39	事務人件費	54,000
2023年度新入生年会費・入会費 110件	880,000	振込手数料	1,420
2023年度年会費(銀行振込) 77件	191,447	コンビニ決済取扱手数料	46,398
2023年度年会費(コンビニ決済) 201件	462,300	郵送費(同窓会便り・名簿)	349,286
		印刷費(同窓会便り・名簿)	583,888
		卒業記念品費	234,850
		その他(「飛翔」同窓会記事英訳費)	8,000
		次年度繰越金	4,966,071
計	6,243,913	合計	6,243,913

2023年度収支決算について監査した結果、適正に処理されていることを報告いたします。

監査委員 宝官 浩之

令和6年7月20日

旧制広島高校との縁

総合科学部の「源流」である旧制広島高等学校の同窓会長・尾形幸雄様(広島大政経学部1953年卒、元中国新聞社専務)から、広高と総科の縁を物語るエピソードを寄せていただきました。

■ 広大総合科学部誕生の経緯

広島高等学校同窓会会長 尾形 幸雄

広島大学の総合科学部が発足したのは、昭和49年(1974年)6月7日である。この世界でも類例のない内容の学部を創った最大の功労者は、初代学部長の今堀誠二氏である。そして、それを支援、協力したのが当時、文部省の高級幹部であった二人の旧制広島高等学校OBであるとされる。

今堀氏は昭和47年、広島大学の教養部長に就任した。彼は教養部の前身ともいうべき旧制広島高等学校など、わが国の旧制高校の特色であったリベラルアーツ教育に強い関心を持ち、それを新制大学で採り入れられないかと考えた。そこで相談を持ち掛けたのが、二人の旧制広高卒業生である。

その一人は、当時、大学学術局長だった木田宏

氏(誠之館中学-旧制広高-京都大学)、もう一人は大臣官房長の井内慶次郎氏(広島高師附属中-旧制広高-東京大学)であり、井内氏は今堀氏と高師附属中の同窓である。

今堀氏は大学教育に精通した二人にアドバイスを受けながら、肝胆相照らし、その連携プレーで「せかいでひとつ」の新しい教育システムを創り上げた。この大物文部官僚の威光もあって、発足時の総合科学部は広島大学の中でも最大の陣容を擁する「トップ学部」としてスタートした。

この二人は後年、木田氏が昭和51年に文部事務次官、その後を継いで同53年に井内氏と二代続いて広高出身の文部事務次官が誕生した。

総合科学部の「地域研究」をめぐる思い出 —— 教授 水羽 信男

僕は1978年に広大文学部に入学し、教養教育を受けた幾人かの総科の先生からは、知的な刺激を受けた。その一人・小林文男氏が組織した学生訪中団の一員として、1980年の春、初めて中国の大地を踏んだ。訪中団の総科の先輩は今堀誠二氏の薫陶も受けていたが、「総科の学際的な地域研究は生きた学問だが、文学部では死んだ学問をする」と自らの独自性を誇った。また彼の提案で堤正信氏らとも連携し、夜間学級で中国残留孤児およびその家族たちと交流した。こうして僕は、一度は総科の大学院への進学を考えた。が、最終

的には文学研究科へ進んだ。そんな僕が1996年10月に布川弘氏らと一緒に総科に採用されることになった。その後の総科での研究・教育、また2014年の産経新聞の「歴史戦」のキャンペーンへの対応などを通じて、なぜ「中国・アジアを研究するのか」、「いかに自分の研究を表現するのか」といったことを、文学部とは異なった深度で考え・実践することになった。決して良い教師ではなかったが、僕自身にとっては得難い経験をさせてもらった。総科には心から感謝している。

総合科学部とともに歩んだ人生 —— 教授 岩永 誠

私は総合科学部の第5期生として1978年に入学しました。九州人の私が広島大学に進学することを決めたのは、総合科学部があったからです。もともと理系でしたが、日本史が大好きでしたし、環境問題や災害にも興味を持っていました。そうした欲張りな学びができそうな学部は総合科学部しかなかったのです。でも気がついてみると、高校時代には全く知らなかった心理学を専攻しています。これができるのも総合科学部ならではのことで、大学に進学してから進路を選択できることはとても素敵なことです。

大学院修了後の1988年からは他大学で教鞭をとっていたのですが、総合科学部が東広島キャンパスに移転した1993年に教員として総合科学部に戻ってきました。学生時代の先生たちが教授のもとで助教授を務めるという、ある意味微妙な立ち位置でのスタートでしたが、先生たちの多大な理解のもと、好きな研究を進めることができました。本当に恵まれていたと思います。

幸せな助教授・准教授時代が終わり教授になる

と間もなく総科の評価委員会やプログラム委員会の委員長を経て、そのまま副学部長、学部長を務めることとなりました。学部長を辞めたら楽になると思っていたのですが、すぐに図書館担当の副学長になり、その後学生支援担当の副学長を務めることとなりました。この間、日々の業務に忙殺され、自分のやりたいことは後回しでした。細々と調査研究を続けるだけになってしまったのが心残りです。

50年も前に文理融合を唱えた総合科学部が社会に与えたインパクトは大きく、その後数多くの学際系学部が誕生するきっかけとなりました。しかし総合科学という学問分野が存在するわけではありません。そこにあるのは、時代のニーズに合わせて複数の学問分野が協力して課題を分析し問題解決を図ろうとするムーブメントです。そうした志向性を持ち、優秀な人材を備えているところに総合科学部の素晴らしさがあると思います。これからは学外から、総合科学部の発展を応援していきたいと思っています。これまで仲良くしていただい

た先生方、事務の方々、学生の皆さんに心から感謝して、総合科学部での生活を終わりたいと思います。長年、ありがとうございました。

※総合科学部5期の岩永先生の「最終講義」と「祝賀会」が開催されます。詳細は2月初旬に総合科学部心理行動系同窓会(HB会)のHPに掲載されます。

3月1日(土) 15時～ 広島ガーデンパレスホテル

問合せ先：082-424-6580(広島大学 小川研究室)

またはogawakeicom@hiroshima-u.ac.jp(小川景子)

■ ■ ■ 退職6年…『心の正体見たり』上梓 ————— 名誉教授 山田 純 ■ ■ ■

総合科学部に32年在職し、退職は2017年です。その間、担当は教養的教育、外国語コース、言語文化プログラムと変遷しましたが、いつの時も優秀な教官、学生と一緒にでした。大学院では、多くの学生と共同研究をおこない、成果を一流国際誌に発表することもできました。必然ながら、その後の卒業生修了生の飛翔に感嘆しています。もちろん、現役教授陣の活躍は言を俟たずです。そして、退職者を忘れてほしくないです。サンデー毎日で遊んでいるわけではありません。気分はサバティカルです。

本稿の主目的は自著アピールです。2023年に『心の正体見たり 教養人に与うる書』星和書店(1,980円)を上梓しました。心は実在しない、心が痛むことはない、心的辞書は実在しない、漱石は『こゝろ』を「心」という語を使わずに書けた、多くの文脈で「心」は「体」で代用できる、実在しない心を悩み、悩まされるのは理不尽なり。これらが主旨です。教養60%、学術30%、エンタメ10%くらいです。朝日

新聞のサンヤツに出ましたが、あまり売れていません。西図書館にも置いてくれています。現実はいさしばしば冷酷です。本書が売れる条件は、(1)本稿を読む、(2)教養人である、(3)心に関心がある、です。(1)と(2)はOKですが、(3)で躓きます。心は、実在しないがゆえ、関心が薄いのでしょうか。誰かインフルエンサーが、いろいろ問題ありだが、教養人の読物としておもしろいと言ってくれると売れるのですが。学長に献本したところ、「読み始めましたが、インパクトある出だしでした」という返事をもらいました。ただ、そのあと読んでくれたかどうかは定かではありません。

老兵は死なず、消え去らず、大志を抱き、翔る。それを地でゆく屈強の退職者は大勢実在します。筆者も、その優れた退職群の中に入れるように、現在は「時間は実在しない」と「幸せの正体見たり」というテーマで総合的に分析、考察、執筆中です。いずれも出版は困難ですが、翔け続けます。

■ ■ ■ ゆく先を照らすのは、まだ咲かぬ見果てぬ夢 ————— 教授 和田 正信 ■ ■ ■

昭和から平成にかわる直前の1988年11月に、総合科学部に赴任しました。当時、東広島への移転を控えており、建物は手狭で十分な実験室もあてがわれませんでした。「ここで何ができるのだろう」と、不安を感じる日々を送っていました。赴任から約3年後の1991年10月から1年間、ペッチ博士(ドイツ、コンスタンツ大学)のもとへ、研究員として留学する機会を得ました。今思えば、そこで学んだことが、研究者としての基礎づくりとなったような気がします。留学から帰ってくると同時に、総合科学部が東千田から東広島に移転し、研究環境が整いました。

筋肉の収縮を制御しているものはカルシウムです。ペッチ博士が持っていたカルシウムについての実験手法を応用し研究を始めると、私のもとで博士号取得を目指す学生が集まり始めました。彼らと勉強会と実験を重ねていくと、その先がみえてきて研究が膨らんでいきました。中島みゆきのヘッドライト・テールライトの中に出てくる歌詞、「ゆく先を照らすのは、まだ咲かぬ見果てぬ夢」のようでした。そんな毎日を重ねていたら退職を迎えました。夢のような毎日でした。

パイオニア精神 受け継ごう 「今堀誠二賞」に推薦・応募を！

総合科学部創立50周年を記念し、初代学部長にちなんで「今堀誠二賞」を創設しました。理事会で約1年かけ論議した後、本年8月10日の祝賀会・同窓会大会で次頁の趣意書を承認。その席で、記念講演した堀川恵子さん（1988年入学・外国語コース）に、前延国治同窓会長から「今堀誠二賞特別賞」が贈られスタートしました。今後年1回、表彰します。賞金は5万円。

賞の対象とするのは学問研究のほか課外活動、社会・経済活動、平和・国際貢献など幅広い分野における実践・実績です。学部創設の志に通じる創造的な活動を評価し、新規性や独自性を重視します。個人の活動を想定しますが、内容によっては団体も対象とします。

学内には既に「学長表彰」「総合科学部岡本賞」などの賞があり、学問研究や課外活動で評価され模範となる者が表彰されていますが、今堀賞は、総科らしいユニークさなど、「型破り」な活動も含めた「ナンバーワンよりオンリーワン」に注目します。ふるって推薦、応募ください。

第1期の締め切りは2025年7月末とします。推薦・申し込み窓口は総合科学部同窓会事務局（巻末に住所、eメールアドレス）

（今堀賞創設検討委員会委員長 田中伸武＝1977年入学・社会文化コース）



看板を掲げる今堀初代学部長（1974年6月）

後輩たちを後押ししよう

ひろだいそうか基金・今堀誠二賞等学生支援基金

50周年記念事業を皆様のご尽力により成功裏に終えましたが、学部の意向もあり、同窓会としては、「ひろだいそうか基金」への支援を継続するとともに、同窓会大会で決議された「今堀誠二賞」の原資の積み立てや現役学生の様々なチャレンジを支えることを目的として『今堀誠二賞等学生支援基金』を創設し、会員の皆さんからの支援をお願いしたいと思います。

この「今堀誠二賞等学生支援基金」に寄せられた浄財は、「ひろだいそうか基金」が直接に総合科学部に支援されるのと異なり、今般創設された「今堀誠二賞」による同窓会としての学生・同窓生に対する顕彰、次代の後輩たちを励ますために活用させていただき、その成果は同窓会だより等を通じて報告させていただきます。

●同窓会費も継続納入を

皆様からの同窓会費も一部は学生支援に活用します。ぜひ毎年納入ください。この同窓会だよりは、次号から会費納入者にのみ送付させていただくことも検討します。

皆様のご協力をお願いします。

「今堀誠二賞」創設趣意書

2024年8月10日

広島大学総合科学部同窓会会長 前延国治

【趣 旨】

広島大学総合科学部はことし2024（令和6）年、創立満50年を迎えました。旧制広島高校、新制広島大学教養部を母体にしながらも1970年代の大学改革によって再生し、国内初の文理融合、学際探求型の先進的学部として誕生、成長してきました。

学部創設の第1回入学式で、今堀誠二・初代学部長は壮大な志を述べておられます。

「総合科学という世界のトップを切って進む学問…諸君こそ次の時代を担って立つ…日本全体が期待しています。…近代科学は間もなくその歴史的使命を終えて老兵となって消えていきます。これに代わって人類の歴史を担っていくのが総合科学であり、諸君はそれを勉強するためにわが学部に入學されたのです」

学問としては「創造性」「総合性」「学際性」を柱に据え、新たな道を切り開くパイオニア精神にあふれた門出でした。その精神を今も引き継いでいるのが学部発展の大きな理由の一つです。

いま、学部卒業生は8,000人を超え、国内外のあらゆる分野で活躍しています。同窓会としては、半世紀の節目を迎えるにあたり、「学部生みの親」として創立に力を尽くされた初代学部長今堀誠二先生ら関係者の方々を思いおこしたいと考えます。そして、そのパイオニア精神あふれる志を受け継ぎ、次代の後輩たちを励ますために、ここに「今堀誠二賞」を創設します。

【要 綱】

1、目的

この賞は、総合科学部の初代学部長、今堀誠二先生（1914—1992年）を顕彰し、学部創設の志を刻み直すとともに、パイオニア精神あふれる創造的な活動に対し、これを称え、励ますことを目的とする。

2、部門

この賞には、総合科学部に在籍する学生を対象とする「学生部門」と、卒業生を対象とする「同窓生部門」の2部門を設ける。

3、推薦、選考

学生部門は、自薦及び学部教職員の推薦に基づき、同窓会長及び学部長が指名する選考委員会が選考する。同窓生部門は、自薦及び同窓会長の推薦に基づき、理事会が選考する。

4、賞金、副賞など

賞金は、寄付金その他をもって充てる。金額、副賞などは理事会で決める。

5、表彰式

表彰は年1回、広島大学ホームカミングデーの場などで行なう。

6、その他

この賞の運営や選考その他に問題が起きた時は理事会で解決を図る。

2024年8月10日制定

●多分野で活躍 大学改革の先頭に

【いまほり・せいじ】1914年大阪市生まれ。広島高師付属小中、同高師、広島文理大卒。同大副手、助教授などをへて72年広島大教養部長。学園紛争で問われた大学改革を当時の飯島宗一学長らと進め、74年総合科学部を誕生させた。77—87年広島女子大学長。中国現代史研究の第一人者として80年学士院賞受賞。「原水爆時代」（59—60年）を著すなど平和運動にも力を注いだ。民衆の視点を貫くヒューマニストで、作家瀬戸内寂聴氏との交友は有名。政府や自治体関係の委員、文化・平和諸団体の役員など多分野で活躍した。生涯独身。92年没。墓所は大阪府の大阪北摂霊園。

※今堀先生の第一期生入学式あいさつ全文など学部設立特集「総合科学」1974年7月号は、総合科学部ホームページ「広報・刊行物」→「飛翔」→「バックナンバー」にあります。

■ 今後の同窓会活動に寄せて

総合科学部同窓会会長 前延 国治

同窓会活動も50年の節目を終え、中には70代を迎え、社会の第一線を退く者が増えていく中で、同窓会活動はこれまで同窓生同士の親睦や現役学生の活動支援に取り組んでまいりましたが、「同窓会名簿」の使われ方をはじめとして、時代変化の趨勢は容赦なく迫ってきています。

SNSをはじめとしたツールの進化は、どんなに離れていても即座につないでくれますし、そんな生活環境の中で私達は何を「同窓」に求め、何を見出すべきなのか。

私自身は、悩める現役学生に社会人経験者として様々なアドバイスや便宜を提供し続け、後進の活躍を支援しつつ、自らもその道しるべとなり、頼られる存在であり続けることではないかと考えています。

そんな中で現役学生とのつながりをいかに紡いでいくか、そこに同窓会としての真価が問われてくるものと思ひ、今後も現役学生への支援を同窓会活動の主軸に据えたいと考えています。

先輩だからと肩を張らずに、気づいたこと、できる善意、気持ちを後進につなぐことは、私達自身にとっても励みにもなりますし、是非、会員の皆さんにも懸命に活躍しようとする後輩を応援していただければと願ってやみません。

会員の皆さんには、頑張っ活動している学生の姿をお届けするとともに、学生との交流の場を創設していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

お知らせ

同窓会のホームページ

総合科学部同窓会ホームページでは、新着情報、同窓会からのお知らせ、「同窓会だより」の**バックナンバー**等をいつでも見ることができます。また、住所等の変更もここでできますし、卒業生間の親睦を深めるための「卒業生伝言板」もあります。

皆様ご利用ください。ご意見、ご希望もお寄せください。

広島大学基金のご案内

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/kifu>

総合科学部同窓会

<https://souka-oba.hiroshima-u.ac.jp>

同窓会費納入のお願い

我々の同窓会は皆様からの**年会費**で運営されています。同窓会の活動をご理解いただき、本年度の会費の振込を何卒お願い申し上げます。会費振込には、同封の**コンビニ振込用紙**をご利用ください。

会費は、2,000円に値下げしておりますが、皆様の利便性を高めるため、コンビニ支払いに切り替えておりまして、その関係で発生する手数料等も乗せて300円を加算しておりますので、宜しくお願いいたします。

また、このコンビニ振込用紙のバーコードがスマホ決済(PayPay、LINE Pay、auPAY、PayB)に対応しました。各アプリでバーコードを読み取ることでご自宅から入金可能です。この決済は㈱サラトに委託していますので、入金先として「サラト」が表示されますがご安心ください。

住所変更等(名簿の管理)

住所変更等がございましたら、総合科学部同窓会ホームページの名簿変更用フォームよりご送信ください。

● 名簿担当 平山 恭之

TEL 082-424-6519

yhiraya@hiroshima-u.ac.jp

同窓会の連絡員募集

総合科学部同窓会では、会員の関係を密にし、より活発な活動を行うため、それぞれの**卒業年度から2名程度**の連絡員を募集しています。やってみたいと思われる方は、同窓会広報担当(下記)までご連絡ください。より充実した同窓会活動ができるよう、会員の皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

● 田中伸武 nbtnk@ms10.megaegg.ne.jp

● 畑尾武海 TAKEMI.HATAO@haku-hodo.co.jp

「同窓会だより」原稿募集

皆様からの原稿を募集しています。総科にまつわる**話題**や**近況報告**等を是非お知らせください。記事のリクエストも募集しています。また、「**世界に羽ばたけ、総科生**」と「**退職・転出教員からのメッセージ**」に取り上げてもらいたい人の募集もしています。自薦、他薦は問いません。「同窓会だより」に関する連絡は下記までお願いします。

〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1

広島大学総合科学部

● 東谷誠二 TEL 082-424-6546

seiji@minerva.ias.hiroshima-u.ac.jp

● 宗尻修治 TEL 082-424-6362

munejiri@hiroshima-u.ac.jp

● 山本幹雄 TEL 082-424-4625

mikiy@hiroshima-u.ac.jp